

環境や仲間を「思いやる心」で省エネ。

栃木県 矢板市立矢板中学校

特徴

- 「環境」とは、「自然環境」ばかりでなく、「生活環境」も含むという環境意識のもとで活動している。
- 「広報」「放送」「図書」「給食」「美化」「保健」「福祉」といった各委員会が主体となって、それぞれの立場から省エネ活動を企画、実践している。

一人ひとりが できることから始める。

矢板中学校では、「環境とは自然環境ばかりではなく、自分たちに関わる全て」という意識のもと、気持ちよく勉強できる教室や、友人関係なども環境の一部と捉えています。よりよい学校にするため、特別な人が特別なことをするのではなく、一人ひとりが身の回りのことに取り組むことが大切だと考え、各委員会がさまざまな環境活動を行っています。

◇広報委員会

- ・節電を呼びかけるポスター・ステッカーを作成し、スイッチの脇に貼り付けた。
- ・毎月の電気使用量や料金、省エネ状況を省エネナビなどでモニターし、グラフにして掲示した。

◇放送委員会

- ・給食時の放送で、節電と昼休みの消灯、節水を呼びかけた。
- ・待機電力の削減のために教室内のテレビ、ビデオのコンセントを抜くよう伝えた。

◇図書委員会

- ・図書室内に環境問題、自然問題、省エネのコーナーを設置している。

◇生徒会役員会

- ・ペットボトルのキャップの回収を呼びかけ、市の回収所に持ち込んでいる。

◇給食委員会

- ・給食時に各教室から出る牛乳パックを定期的に回収している。
- ・回収されたパックは、毎月矢板市環境課によって回収され、トイレトペーパーの材料になっている。

◇美化委員会

- ・各教室での不要なPPC用紙の回収（再利用紙）とごみの減量運動を行っている。
- ・定期的な委員会活動の時間に教室から出る余分なプリント類を回収している。



矢板中学校

- ・毎週末の清掃の時間には、学年ごとに分担して教室内のゴミを回収し、同時にゴミの重さを計量している。

◇保健委員会

- ・福祉活動と連動して、プルタブの回収活動を続けている。
- ・集まったプルタブは矢板市福祉協議会に寄贈され、関係施設での車イスの購入費用に充てられている。
- ・平成20年度は約40kg回収し、2月末に矢板市福祉協議会に寄贈した。

◇福祉委員会

- ・保健委員会と同時展開で、古切手、使用済みカード類を回収している。
- ・プルタブと同様に矢板市福祉協議会に寄贈している。

環境や仲間を「思いやる心」が大切。

矢板中学校では、「環境を思いやる心」は「仲間を思いやる心」と同じと考えています。自分の行動が環境や他の人たちにどう影響するかを考え、「思いやる心」を持って「身の回りのことを考える」ことが今後のテーマと考えています。これからも生徒会を中心に、節電キャンペーンや回収活動を継続・発展させ、学校の伝統として定着させていくそうです。

【エネルギー削減率】 3.3%

■プロフィール

所在地：栃木県矢板市
参加生徒数(学年)：678人(1～3年生)
省エネ活動について：以前から実践
省エネナビ：設置